



鳥羽神明社(火祭り) 愛知県指定無形文化財

第51代平城天皇の大同年間(806~810年)に創立された「鳥羽神明社」の「火祭り」は、県下の奇祭として有名である。祭りの起源は、記録等焼失のため不詳であるが、約1200年前からと伝えられる。毎年旧暦1月7日(現在は2月第2日曜日)に実施されている。

西尾更生保護

第76号
 発行者
 西尾保護区保護司会
 事務局
 西尾市寄住町下田22
 西尾市役所福祉課内
 ☎(0563)56-2111(代)
 (題字 鳥居伸子)



「安全・安心な
 地域づくり」

西尾警察署長
 室田敬治

新年、明けましておめでとうございます。皆様におかれましては健やかに新春を迎えられたことと、お慶び申し上げます。
 また、日頃は、警察行政各般にわたるご理解とご支援を賜り、ありがとうございます。

さて、昨年を振り返りますと、新型コロナウイルスの影響から少しずつ日常を取り戻しつつも、やはり、常に新型コロナウイルスの感染等を気にしながらの生活ではなかったかと思えます。警察活動におきましても、常に感染予防に留意しながらの活動であり、市民の皆様に対しても、ご負担をおかけしたのと思っております。

西尾警察署においては、「安心して暮らせる安全な西尾市」を実現するため、市民の皆様をはじめ関係機関、団体と様々な情報を共有し有効かつ効果的な諸対策を推進してまいりましたが、依然として、犯罪や交通事故が発生している現状から、今後も、引き続き各種警察活動を推進する必要があります。

そうした警察活動を強力に推進するためには、市民の皆様をはじめ関係機関、団体が同じ方向に向かって進んでいくという連帯感が必要であると考えております。変化する社会情勢に対応して、警察が様々な諸対策を講じたところで、その目的を達成することは到底できません。

警察だけでは、目の届かないところも多くあると思いますので、今後「安全な西尾市」の実現に向けて取り組んでまいりますので、警察活動に対するより一層のご理解とご支援を賜りますようお願いいたします。

新年にあたりまして



西尾保護区保護司会
会長 鈴木 孫七

明けましておめでとうございます。新年を迎え、本年も皆様にとって素晴らしい年となりますよう心よりご祈念申し上げます。

昨年は、コロナ禍の一年でありましたが、会員の皆様には、様々な感染防止対策へのご配慮とともに、対象者に対する処遇活動、地域活動にご尽力いただきありがとうございました。

私事ではありますが、本年十一月には定年退任を迎えるにあたり後任の保護司適任者確保の重要性と難しさを実感いたしております。西尾保護区保護司会におきましても、この先五年間で十九名の方々が定年での退任時期を迎えられる事を考えますと、保護司の適任者を計画的に確保することがきわめて重要な課題であると思われま

す。名古屋保護観察所によるご指導、ご支援を賜りながら地方公共団体を始め関係機関、団体に対する協力依頼を積極的に推進し、保護司適任者確保に努力して参りたいと思っております。会員皆様方のご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

更生保護女性会
今年の抱負



西尾市更生保護
女性会
会長 沖田 和子

明けましておめでとうございます。皆様には、お健やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。コロナ禍も収束の兆しが見えて参りましたが、未だ予断を許さない状況です。

私たち更生保護女性会の総会も二年続けて書面決議となり、会員一同、非常に残念でありました。そこで、今回、私の所信といたしましては、より斬新な更生保護女性会作りを心掛けて参りたいと思っております。それには、歴代会長の良き教えを引き継ぎ、役員、理事の方々による新しい考えを取り入れて進めて参ります。

私たち更生保護女性会は、身近な存在として、地域に根ざした活動を継続しており、更なる期待に応えられるよう、より知識を深め、自己研鑽に励み、明るく楽しい更生保護女性会作り邁進して参る所存です。ご支援の程よろしくお願いいたします。

更生保護女性会会長として、『肩書きではなく、本物で評価される 自分でありたい』と念じております。

年頭所感



西尾保護区
協力雇用主会
会長 深谷 宣一

明けましておめでとうございます。コロナウイルスで活動が殆ど出来なかつた雇用主会ですが、四年度は総会、意見交換会と少しずつ前に進んで行ける状況になってきました。しかし、まだまだ会の進め方に確たる方向性がない状況のまま新しい年を迎えました。

令和五年「癸卯 四緑木星」の年は、どんな年になるでしょう。

十干十二支、九星によると、「原理原則に基づいて道筋をたてて処理し誤ると混乱する。しかし、困難を切り抜けられ、進んでいない物事に新たに取り組み活動を行う時で、全てが整う方向に向かい始める」とあります。

コロナ禍も、ウクライナ情勢や円安も、そして、雇用主会の活動も、立春過ぎから好転に向かうことを期待し、初春の夢といたく思っています。

令和五年が、会員の皆様方にとりまして、良き年でありますようお願い申し上げます。

研修部会

施設見学

愛知県立にしお特別支援学校

八月二十二日(月)コロナ禍で受け入れ施設が限られた中、昨年四月、地元に関校した愛知県立にしお特別支援学校を見学しました。参加者は三十一名でした。

この学校は『かがやく笑顔・つながる人の輪・ひろがる可能性』を校訓とした県下初の『知的障害教育』と『肢体不自由教育』を兼ね備えた特別支援学校です。

施設内は、廊下が広く、安全面の配慮がなされていた事がまず目に留まりました。教育は、学年別・障害の程度別に分けられ、個々に向き合う体制がとられていました。



医療ケア(痰の吸引・導尿・胃瘻)、水治療、練習室(プール)、ふれあいホール、図書室、音楽室等々、県下初の施設にふさわしく充実して

しました。この学校が真に児童生徒の支援となる為には、施設の充実だけでなく、保護者間の連携や地域社会の理解と協力が必要であると思われま

ゆきたいと思

(研修部会 小木曾和夫)

社明部会

令和四年度
「社会を明るくする運動」
青少年健全育成市民大会

社会を明るくする運動・西尾市青少年健全育成市民大会は、令和二年から新型コロナウイルスが蔓延し、全国的に行動制限が行われたことに伴い、令和二・三年度と中止せざるを得ませんでした。今年度は新型コロナウイルスがまだ収束する気配は見えていませんでしたが、重症化リスクの減少やワクチンの接種率向上などにより行動制限が行われなかったため、三年ぶりの開催となりました。

社明部会では、開催にあたり入念に準備を進めてきましたが、開催直前になって、会場の文化会館大ホール空調設備の故障で、小ホールに変更となりました。急な開



催規模の縮小により、多くの来賓の皆様のご出席が叶わなくなりご迷惑をお掛けしてしまいました。



「犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ」「育てよう自分自身に勝てる子 負けない子」

「大人自身が、姿勢を正しつつ、明るい家庭を築き、親子の触れ合いの中でしつけを徹底し、善悪の判断ができ、実践する子どもへの育成に努める」など三項目からなる大会宣言が採択されました。

規模縮小のため約一七〇名ほどの参観者となりましたが、発表した中学生の皆さんが堂々と胸を張り、立派に主張した様子に心を打たれました。いくつかのトラブルを抱えた中での大会でしたが、更生保護女性会及び多くの保護司の皆さんに役割を担っていただき、無事終えることができたことに感謝いたします。

(社明部会 杉浦 恵一)

研修部会

第二期地域別定例研修
特定少年の保護処分について

令和四年四月一日から民法で定める成年年齢が18歳に引き下げられ18・19歳(特定少年)の保護処分の扱いが変更になりました。



中村隆生保護観察官を講師に研修を深めました。特定少年は少年法が適用され、家庭裁判所で調査・審判の上、二年又は六月の保護観察の拡大や実名報道の解禁等について学びました。

続いて神戸連続児童殺傷事件を起こした犯行時14歳少年が、22歳で少年院退院となったことを知り、人として保護司として考えさせられました。さらに、「前科者」という

保護司が登場する漫画より課題をいただき、自分なりのセリフを考えたことも有意義でした。

最後に、中村観察官の「生まれながらの犯罪者はいないので、(対象者)対人関係を作る中で重ね合わせの思いをもってほしい」と結ばれた言葉が心に残りました。

(研修部会 宮地 弘子)

研修部会

県外特別研修
保護司旅行に参加して

十月十六・十七日研修旅行が三年振りに開催されました。行き先は山梨方面で、一日目は富士周辺の富士浅間大社参拝と山梨富士山世界遺産センターの見学、甲府の石和温泉に宿泊し懇親会が催されました。懇親会では保護司の皆様の間談などお伺いし、楽しい時間を過ごすことができました。

二日目は甲州名物の信玄餅桔梗屋の工場見学や勝沼ワインの試飲、河口湖の富士山パノラマロープウェイの乗車と、盛りだくさんの富士周辺観光。郷土料理の「ほうとう」を食べ、たくさんのお土産を買って、皆さん久しぶりの旅行を満喫しました。



コロナ感染が増加中の研修会企画であったことから、研修部会長や研修委員の方々のお気づかいにお礼申し上げます。

(研修部会 岡安 敏雄)

愛知県更生保護大会 に参加して

とき十一月十一日(金)
ところ 安城市民会館
サルビアホール

当日、中部六県から千人近い保護司、更生保護女性会の方々に参加。西尾市からは春の叙勲・藍綬褒章の杉浦義信氏をはじめとして、中部地方保護司連盟会長表彰の三名が会場にて受賞しました。

開催要項の「天皇陛下おことば」の中に、我が国の更生保護について、「過ちを犯してしまった人の社会復帰と再犯防止のための力となり、平和と安全な社会をつくるために果たしてきた役割は、誠に大きなものがあります。」と記されています。

これまで以上に再犯防止・改善更生の実を挙げていかなければならないと思われました。
(鈴木 睦)



令和四年度受彰者紹介

秋の叙勲 瑞宝双光章



保護司 松井 仁志

春の叙勲 藍綬褒章



保護司 杉浦 義信

秋の叙勲 藍綬褒章



保護司 二村 岐子

中部地方保護司連盟会長表彰



保護司 鈴木 睦



保護司 石川 裕司



保護司 井上 和江



保護司 木村 照子

愛知県知事感謝状

名古屋保護観察所長表彰



保護司 稲垣たまえ

名古屋保護観察所長感謝状



保護司 鈴木 茂



(家族功労) 伊藤津夜子
(伊藤則男保護司の妻)



(家族功労) 岩瀬 孝子
(岩瀬一保護司の妻)

愛知県保護司会連合会長表彰



保護司 長谷 敦司

中部地方更生保護委員会
委員長感謝状



更生保護女性会 沖田 和子

名古屋保護観察所長感謝状



更生保護女性会 柵木ちる子



更生保護女性会 都築美千代

愛知県更生保護女性連盟
会長表彰



更生保護女性会 吉田 秀美



更生保護女性会 稲垣まつ子



更生保護女性会 曾我 朋子

退任保護司紹介



吉良町 二村 岐子
(在職26年)



平坂町 外山 修
(在職16年)



巨海町 鈴木 忠之
(在職10年)

在任期間は異なりますが、一緒に保護司会の仕事ができうれしかったです。退会されてもご助言をいただければ幸いです。

新任保護司紹介



吉良町 神谷 美貴



吉良町 桑 亜希子



平坂町 鈴木 亨



巨海町 筒井 隆博

(令和四年十一月二十五日 就任)

編集後記

たかが四頁、されど四頁。執筆された方々の強い想いが短文に凝縮され、素直に読み手に伝わってきます。そして、毎回手際よく行われる編集会議。

「記録」と「記憶」に残る会報編集委員会です。

令和五年 謹賀新年

(総務部会長 伊藤 則男)